

平成28年度経営計画の評価（概要）

（1）保証部門

（重点課題） ① 適正保証の推進 ② 創業・経営支援体制の強化 ③ 関係機関との連携強化

- 【自己評価】
- ◆ 借換保証等セーフティネット保証を中心とした資金繰り支援の実施
 - ◆ 資金ニーズに即した「長期あんしん借換保証」、「ふくいスクラム保証」の創設
 - ◆ 新連携体支援事業（ベストプラクティスプロジェクト）に係る協定を締結し、同連携に基づく「新連携体支援保証」を創設
 - ◆ 徴求書類の簡素化及び小口保証の事前相談体制の整備による利便性向上や保証対応の迅速化
 - ◆ 積極的な企業訪問、適正保証の推進、McSSを活用した助言・提案等の経営支援の実施
 - ◆ 創業相談窓口に加え、休日相談窓口、商工会議所・商工会と連携した現地相談会の開催
 - ◆ 創業後の企業訪問を通じたフォローアップの実施
 - ◆ 創業・新規保証利用推進店舗表彰制度を活用した利用推進
 - ◆ 金融機関向けの勉強会、遠隔地出張相談会、業務説明会の実施
 - ◆ 積極的な金融機関訪問による動向等の把握・連携強化
 - ◆ 中小企業支援ネットワーク会議の開催
 - ◆ 北陸三県の保証協会連携による「しんきんビジネスフェア」への参加

（2）期中管理部門

（重点課題） ① 期中支援の充実・強化 ② 期中管理強化による事故・代位弁済の抑制

- 【自己評価】
- ◆ 外部専門家と連携した「経営支援強化事業」の対象者を創業者や正常先にも拡充し、経営診断、経営改善計画・創業計画の策定支援等を実施
 - ◆ 「経営支援強化事業」を利用した企業に対するフォローアップの実施
 - ◆ 経営サポート会議、バンクミーティング、再生支援先・経営改善計画策定支援事業利用先等に対するモニタリングによる経営改善・事業再生支援の実施
 - ◆ 条件変更先をセグメント化し金融機関への借換提案を行うなど、改善傾向にある企業の正常化を促進
 - ◆ 金融機関からの業況報告書による個別企業の実態把握、動向分析、審査への活用
 - ◆ 延滞・期限経過・事故先の早期実態把握による金融機関等と連携した正常化への取組み
 - ◆ 早期事故先に係る状況の取りまとめや保証部門との情報共有化の実施

（3）回収部門

（重点課題） ① 回収目標額の設定・管理 ② 回収の最大化 ③ 回収スキルの向上

- 【自己評価】
- ◆ 担当者毎の回収目標を定め、回収方針の徹底と進捗管理を実施
 - ◆ 早期回収着手のため、期中管理部門との代弁見込段階からの連携や情報共有化を実施
 - ◆ ターゲットを絞った督促の実施（回収強化月間・督促強化週間、夜間・休日督促）
 - ◆ 競売情報の機関誌掲載等による担保処分の促進
 - ◆ 対面交渉を基本とした現状把握による定期回収先への増額交渉や新規先掘り起こしの実施
 - ◆ 無担保・実質無担保求償権のサービサー委託による回収の効率化
 - ◆ 回収スキル向上のため、顧問弁護士を講師に最新の判例を基とした研修会を開催

（4）その他間接部門

（重点課題） ① 広報活動の充実 ② 顧客サービスの向上 ③ 経営基盤の強化 ④ 人材の育成
⑤ 地域社会への貢献 ⑥ コンプライアンスの強化及び顧客情報管理の徹底

- 【自己評価】
- ◆ 機関誌・ホームページによるお客様の目線に立ったタイムリーな情報発信や協会の取組みに係る情報公開の実施
 - ◆ 景況調査や中小企業者・金融機関アンケートによる利用企業者の実情や協会業務の問題点等の整理・利便性向上に向けた取組みの実施
 - ◆ CS向上に向けて組織全体での取組みを実施
 - ◆ 経営基盤強化のため、収支シミュレーションを通じた検証による、継続的な分析等の実施
 - ◆ 地域社会への貢献としてボランティア清掃活動の実施
 - ◆ 反社会的勢力対応マニュアルの改正、職員への啓蒙活動、個人情報を含む重要情報の適正管理の実施によるコンプライアンスの徹底

（単位：百万円）

	計画	実績	対計画比	対前年比		計画	実績	対計画比	対前年比
保証承諾	41,500	26,808	64.6%	70.3%	保証債務残高	138,115	120,543	87.3%	74.3%
代位弁済	3,807	3,073	80.7%	85.3%	保証債務平均残高	148,976	140,315	94.2%	79.7%
実際回収	1,214	1,545	127.3%	108.0%	求償権残高	831	835	100.5%	78.7%